

市の現状に関する説明資料

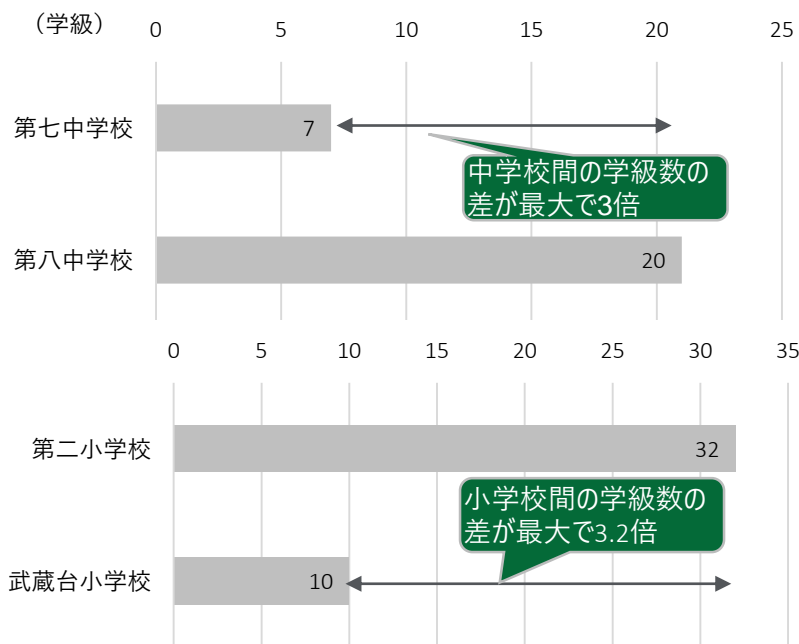
日時：令和 4 年 9 月 7 日（水） 午後 2 時
場所：府中市役所北庁舎 3 階 第 1・2 会議室

年少人口減少やマンション開発等が影響し、学校間の規模の格差がみられています 学校規模の格差は、教育上・学校運営上の問題の原因となるため、解消が必要です

府中市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方について (1/3)

現状と課題

● 学校間の格差 (2022年)



- 年少人口の減少による小規模校化、マンション開発等による大規模効果が進んでおり、学校規模の地域間格差が顕著になっている

● 学校間の格差によって想定される問題の例

	大規模校	小規模校
教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事で、<u>一人ひとりの活躍の機会</u>が限られる <u>人間関係のトラブル</u>が多い 	<ul style="list-style-type: none"> <u>クラス替えができず</u>、多様な考えに触れる機会が限られる <u>学校行事や部活動の選択肢</u>が限られる
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <u>体育館や特別教室の利用の制約</u>が大きい <u>災害時の避難</u>に時間を要する 学校行事で、<u>保護者が学校に入りきらない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 会計対応、保護者会準備などの校務を少人数で行うため、<u>教員一人当たりの負担</u>が大きい <u>教科や経験年数のバランスをとった教員配置</u>が困難 保護者にとって、<u>PTA活動の負担</u>が大きくなる

課題

児童生徒に安心安全で、より良い教育環境を確保するために、小中学校の大規模化・小規模化を解消することが求められている

小学校は6年後に1学年あたり1学級または学校全体で31学級、中学校は6年後に1学年あたり2学級または学校全体で25学級になると予測された場合、対応を検討します

府中市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方について (2/3)

適正規模の定義・検討時期

府中市における適正規模の定義

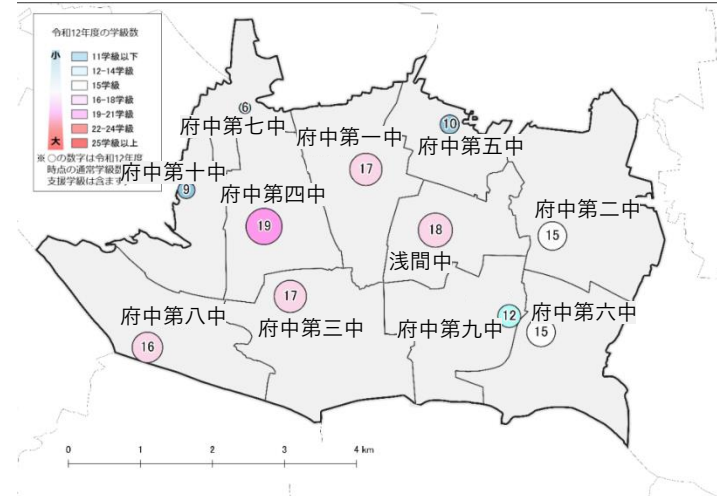
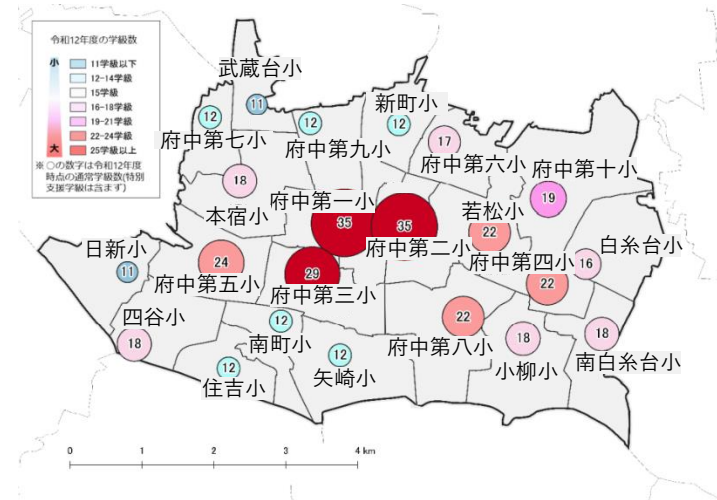
	小学校	中学校
大規模校	25学級以上	19学級以上
標準規模校	<u>12～24学級</u>	<u>12～18学級</u>
小規模校	11学級以下	11学級以下

- 府中市においては、小学校は12～24学級、中学校は12～18学級を標準規模校と定義しました

府中市における適正規模の検討時期

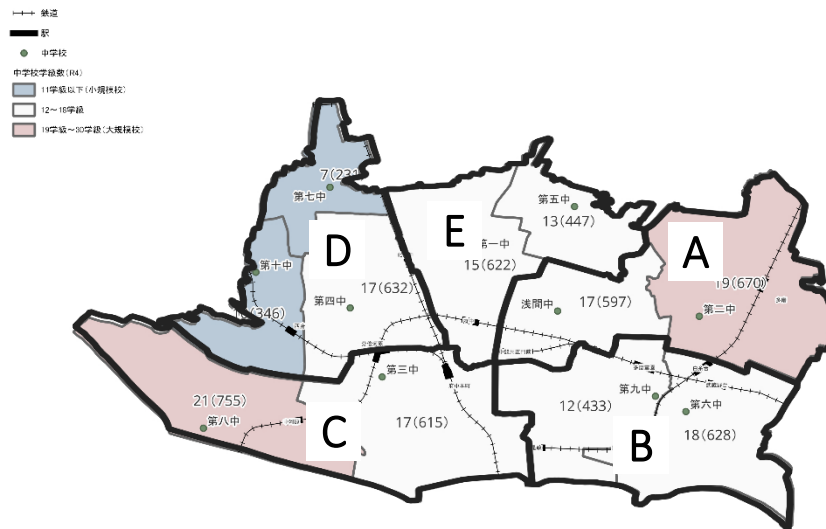
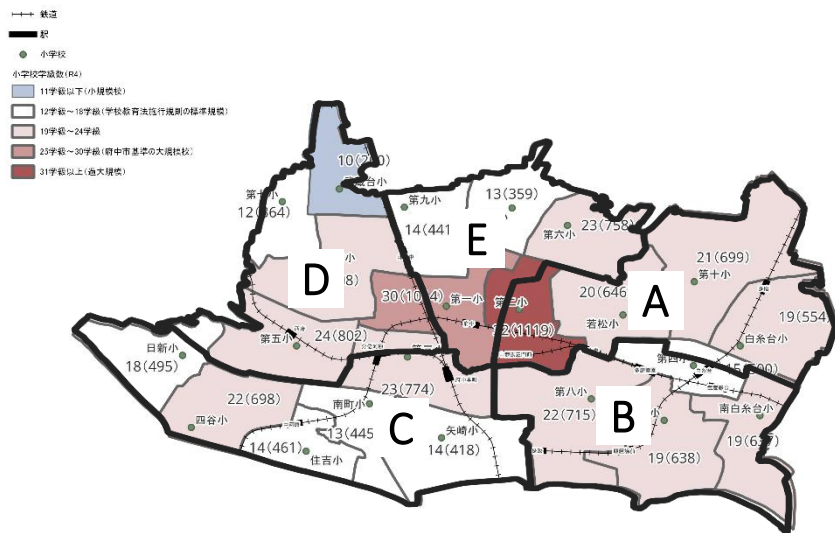
	小学校	中学校
6年後の1学年あたりの学級数	1学級	2学級
6年後の学校全体の学級数	31学級	25学級

- 児童生徒数・学級数の推計を行う中で、上記が予測される場合は、将来を見据えた対応に着手する必要があります
- 実際に小学校に入学する子供が生まれる「6年後」を基にすることで、児童生徒数の推計に大きな差が生じにくいとされています



適正規模・適正配置の検討を行うため、中学校区を基に府中市全体を5つのグループに分けました

府中市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方について (3/3)



グループ名 (仮)	小学校	中学校
A	二小、十小、白糸台小、若松小	二中、浅間中
B	四小、八小、小柳小、南白糸台小	六中、九中
C	三小、住吉小、矢崎小、四谷小、南町小、日新小	三中、八中
D	五小、七小、武蔵台小、本宿小	四中、七中、十中
E	一小、六小、九小、新町小	一中、五中

府中市立小学校の児童数は、10年間で約1,200人減少することが見込まれます

小学校児童数、1学級当たり児童数、学級数の推移（R2、12）

学校名	児童数（人）			1学級当たり児童数（人）			学級数（学級）		
	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)
一 小	1,011	1,149	138	33	33	0	31	35	4
二 小	1,121	1,125	4	35	32	-3	32	35	3
三 小	787	870	83	35	30	-5	23	29	6
四 小	432	623	191	34	28	-6	13	22	9
五 小	719	707	-12	35	30	-5	21	24	3
六 小	739	482	-257	32	29	-3	23	17	-6
七 小	369	284	-85	31	24	-7	12	12	0
八 小	729	652	-77	33	30	-3	22	22	0
九 小	416	400	-16	32	33	1	13	12	-1
十 小	686	603	-83	33	32	-1	21	19	-2
武蔵台小	288	323	35	27	30	3	11	11	0
住吉小	540	368	-172	30	31	1	18	12	-6
新町小	351	315	-36	27	26	-1	13	12	-1
本宿小	732	592	-140	32	33	1	23	18	-5
白糸台小	545	471	-74	29	30	1	19	16	-3
矢崎小	381	325	-56	32	27	-5	12	12	0
若松小	693	643	-50	34	29	-5	21	22	1
小柳小	593	542	-51	33	30	-3	18	18	0
南白糸台小	663	581	-82	35	32	-3	19	18	-1
四谷小	654	550	-104	33	31	-2	20	18	-2
南町小	444	354	-90	35	29	-6	13	12	-1
日新小	504	278	-226	32	26	-6	16	11	-5
計	13,397	12,237	-1,160	32	30	-57	414	407	-7

府中市立中学校の生徒数は、10年間で約90人減少することが見込まれます

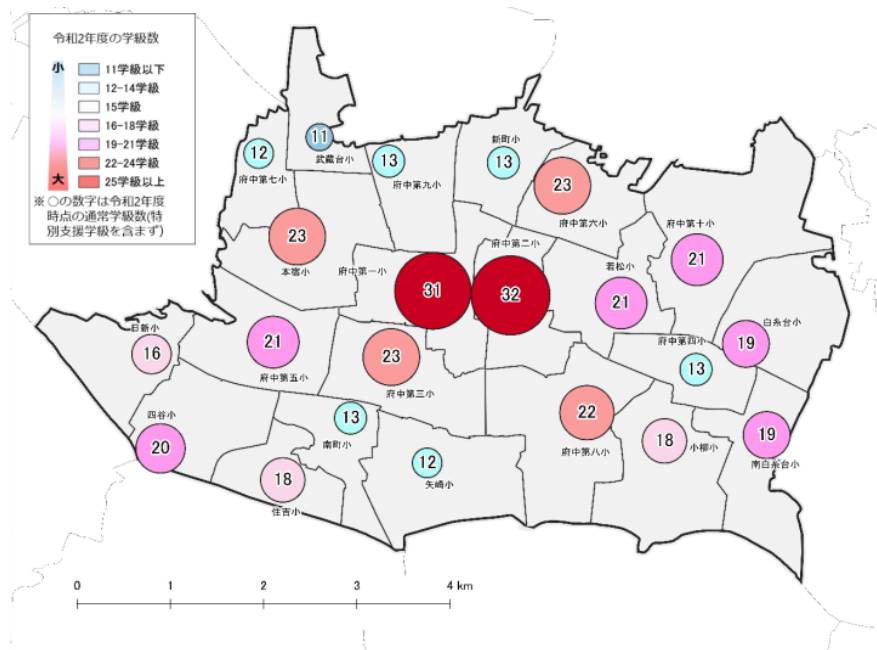
中学校生徒数、1学級当たり生徒数、学級数の推移（R2、12）

学校名	生徒数（人）			1学級当たり生徒数（人）			学級数（学級）		
	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)	R2 (2020年)	R12 (2030年)	今後10年の 増減 (R12-R2)
一 中	566	630	64	38	37	-1	15	17	2
二 中	607	563	-44	34	38	4	18	15	-3
三 中	611	619	8	36	37	1	17	17	0
四 中	568	703	135	38	37	-1	15	19	4
五 中	408	339	-69	34	34	0	12	10	-2
六 中	619	539	-80	34	36	2	18	15	-3
七 中	226	209	-17	33	35	2	7	6	-1
八 中	725	603	-122	36	38	2	20	16	-4
九 中	473	387	-86	34	32	-2	14	12	-2
十 中	295	310	15	33	34	1	9	9	0
浅 間 中	585	687	102	39	38	-1	15	18	3
計	5,683	5,589	-94	35	36	7	160	154	-6

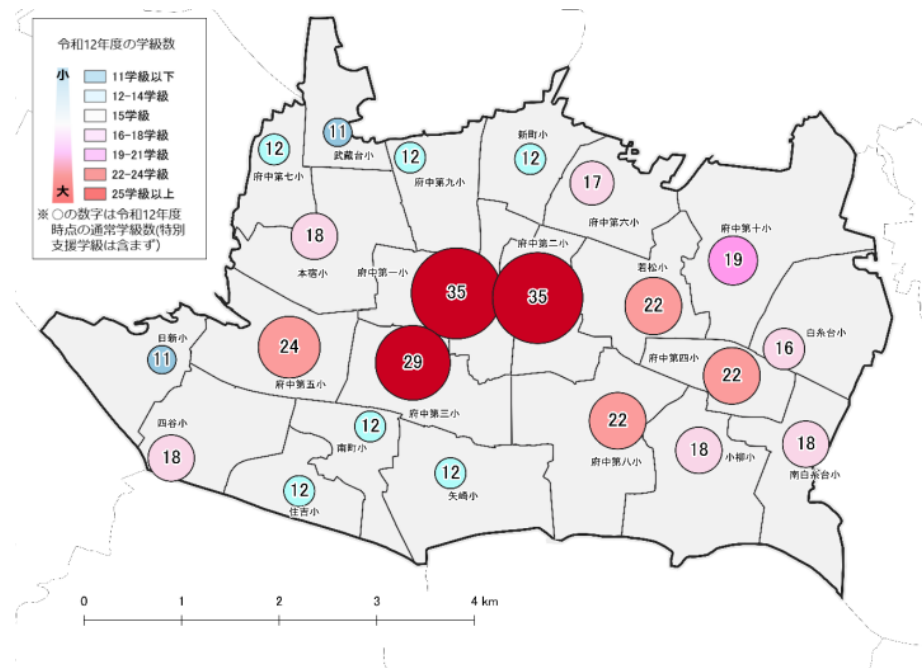
令和2年から令和12年にかけて、一小・二小は大規模校、武蔵台小は小規模校であり、
 加えて、三小が大規模校、日新小が小規模校になると予想されます

小学校学級数 (R2、R12)

令和2年

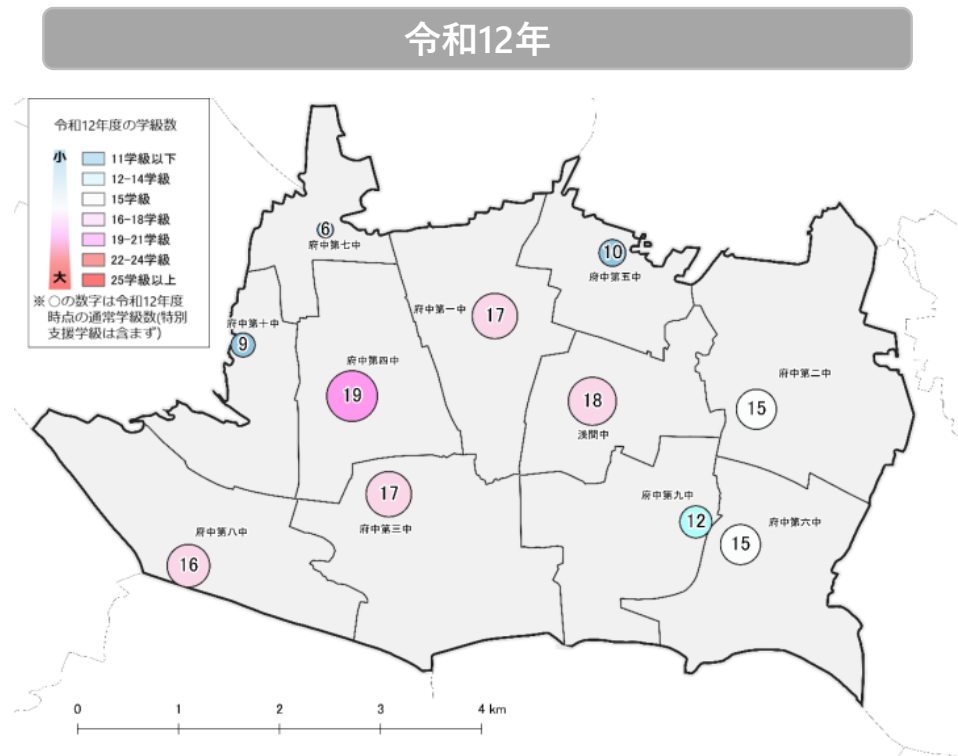
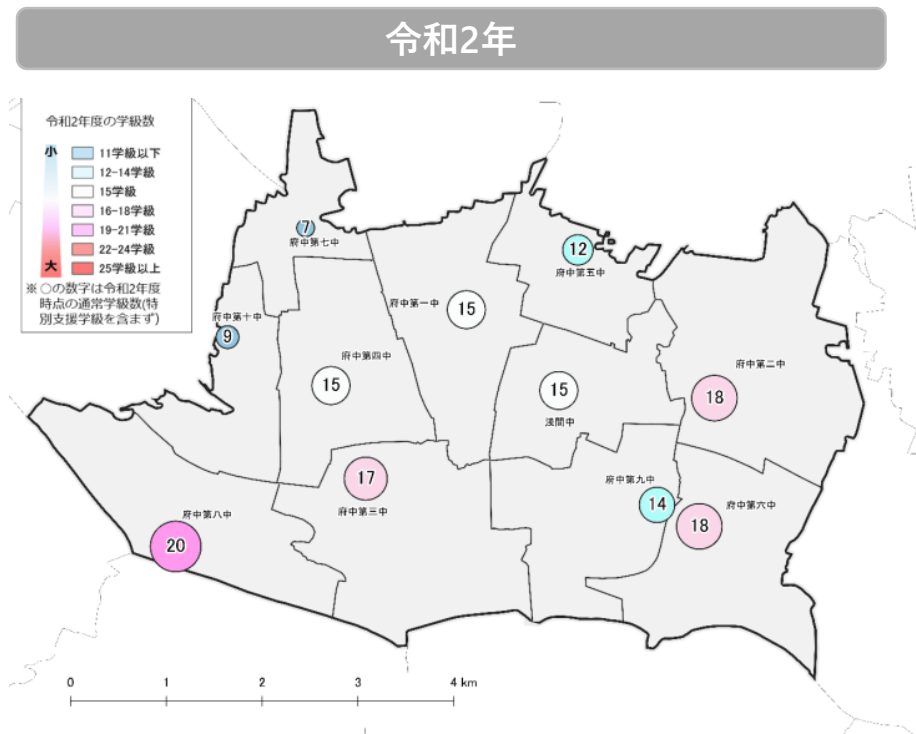


令和12年



中学校は、令和2年においては八中、令和12年においては四中がそれぞれ大規模校となる一方で、七中・十中は引き続き小規模校であると予想されます

中学校学級数 (R2、R12)



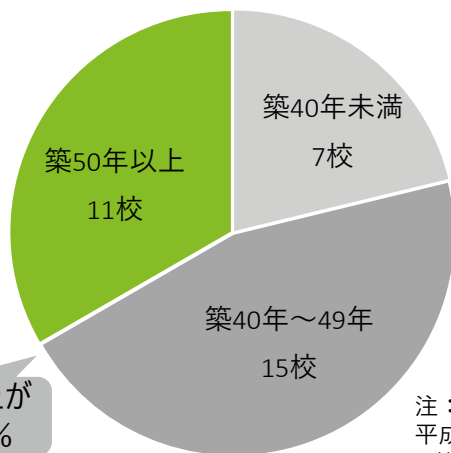
小・中学校は計画的に老朽化対策を行う必要がありますが、令和5年から14年にかけて対策を行う学校では、適正規模・適正配置の考えを踏まえて対策の優先度をつけます

府中市学校施設改築・長寿命化改修計画との関連について



学校施設の老朽化の現状と対策

● 築年数別学校数



築40年以上が
全体の79%

注：老朽化対策調査が完了した平成28年度末での最も古い校舎の築年数の割合

- 府中市の小・中学校は、昭和40～50年代に建築された学校が多く、一斉に老朽化を迎える
- 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう、限られた財源の中で計画的に老朽化対策を行うことが求められている

現状・課題を整理し、府中市が目指すべき学校施設をまとめるとともに、市として整備方針を定め、できる限り公平な教育環境を確保することを目的に、「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」を令和2年2月に策定

● 老朽化状況を踏まえた対策・スケジュール

- 築年数や劣化状況に基づき、対策のグループ分けを行った
- 2年ごとに2校のペースで、学校施設の整備を行う
- 1校の改築に、設計2年、工事2年の計4年間を要する
- 第1グループの学校は、児童・生徒数の将来推計等も踏まえ、適正規模・適正配置の考え方を整理して、対策の優先度をつける必要がある**

令和元年～4年
第一期改築
実施校

八小（工事实施中）
一中（工事实施中）

令和3年～6年
第二期改築
実施校

三小（令和5年度工事開始）
六小（令和5年度工事開始）

検討対象

令和5年～14年
第1グループ

第三期改築実施校（四小・五小）
七小・九小・武蔵台小・矢崎小
二中・六中

令和13年～32年
第2グループ

一小・二小・十小・住吉小・新町小・本宿小・
白糸台小・若松小・小柳小・南白糸台小・
四谷小・南町小・日新小
三中・四中・五中・七中・八中・九中・十中・浅間中